

会 議 録

第2回地域の学校教育のあり方を考える会

地域の学校教育のあり方を考える会

事務局 多可町教育委員会教育総務課

第2回地域の学校教育のあり方を考える会 会議録

■日時 令和2年9月9日（水）午後7時30分～午後9時10分

■会場 ベルディーホール会議室

■出席者 28名／29名（敬称略）

・会長 宮崎 信彦 ・副会長 橋本 衛 ・副会長 伊藤 竜太
・委員 藤原 恵美 多方 正行 西田 修 熊田 勝彦 足立 浩之
畑中 重信 白石 典之 中 孝浩 橋本 行広
寺尾 元基 足立 宗貞 藤田 貴久 植田 美香 朝妻 香織
笹倉 祐子 安平 吉孝（安平りつ子代理） 藤田 佳織 菅家 知子
長澤 高意 竹中 裕貴 神崎 進吾 南畝 大作（谷尾 秀伸代理）
荻野 学 吉田 重徳 足立 徳昭

欠席者 堀口 善弘

【事務局】

・教育長 岸原 章
・教育担当理事兼教育総務課長 宮原 文隆
・学校教育課長 藤本 志織
・学校教育課主任指導主事 吉田 勇二
・学校教育課副課長 届木 豊和
・教育総務課副課長 高橋 敏
・教育総務課課長補佐 山本 聡

■傍聴人 4名

■議題

- (1) 次第4（1）会議録等について
- (2) 次第4（2）各区によるワークショップ

■会議結果

- (1) 第1回会議録が承認されました。

前回の質疑の回答として、学級編制基準及び教職員定数配分方針の説明、学校生活相談シート等の説明を行いました。

- (2) 各区に分かれてワークショップを開催しました。

■会議の経過

| | |
|-------|--|
| 次第 1. | 開会 |
| (事務局) | 定刻となりましたので、ただ今から『第2回地域の学校教育のあり方を考える会』を開催いたします。 |
| | 資料の確認と注意事項 |
| | 会議を始める前に、資料の確認と注意事項がございます。 |
| | ○資料の確認 |
| | ○注意事項 |
| | ・会議作成のための録音 ・会議録は委員承認の上、後日ホームページで公開 ・傍聴希望者への注意事項 |
| 次第 2. | 会長あいさつ |
| (事務局) | それでは、次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。 次第2でございます。会長あいさつをお願いいたします。 |
| (会長) | みなさんこんばんは。第2回目の地域の学校教育のあり方を考える会ということで、ご苦勞様です。9月にも入ったというのにこの暑さ、特に今年は、コロナ対策と熱中症予防に気を配る必要があると思います。今朝の新聞でも神戸の中学校で熱中症による症状で13名の生徒さんが搬送された記事がありました。この時期、体育祭や運動会の練習で特に先生方は気を遣っておられることと思います。本当にご苦勞様です。 |
| | さて、前回のこの会は、教育委員会より現状の子どもたちの状況を報告していただくことに止まり、みなさんの感想や意見を十分にお聞きすることができませんでした。そこで、できるだけ多くのみなさんの意見をお聞きすることと、みなさんがお知り合いになり自由に忌憚のない意見が出せるような雰囲気作りのためにも、今回はあえて、ワークショップ形式意見交換の形を取らせていただきました。私もまだこの回の進め方や課題がよくわかりません。今日のワークショップで、皆さんの意見や大きな課題等が見えてくればよいなと考えています。それでは、みなさんご協力をお願いいたします。 |
| (事務局) | ありがとうございました。 |
| 次第 3. | 教育長あいさつ |
| (事務局) | 続きまして、岸原教育長あいさつをお願いします。 |

| | |
|--------------------------|--|
| (教育長) | <p>みなさんこんばんは。お疲れのところご苦勞様でございます。</p> <p>先ほど、宮崎会長が言われたように、本当に今年は暑い夏でございました。9月に入りまして幾分朝夕涼しくなりましたが、まだまだ日中暑いので十分気をつけて下さい。子どもたちもこの夏を元気に乗り切るかなと心配をしておりましたが、それぞれの学校で十分配慮していただいて、元気に2学期を迎えることができよかったですと思っています。2学期には運動会、体育祭、また修学旅行や文化祭などの行事を計画しておりますが、今年はコロナ禍での開催で、保護者の皆さん、また地域の皆さんに、いろんな面でご迷惑をおかけすると思いますが、何卒ご理解をいただいて、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。</p> <p>今日は、宮崎会長と相談をしまして、委員の皆さん方の意見をいただく機会を多く取りたいということで、こうした形式で実施させていただくことになりました。忌憚のないご意見を聞かせていただきますようよろしくお願い致します。ご苦勞様でございます。</p> |
| (事務局) | <p>出席者数の確認</p> <p>本会議は、設置要綱第6条第2項により、本日の出席者は27名であり過半数を超えておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。(その後1名到着され、出席者28名となる)</p> |
| <p>次第4.</p> <p>(事務局)</p> | <p>議事</p> <p>次第4. 議事でございます。</p> <p>ここからは、要綱第6条の規定によりまして、宮崎会長により進行をお願いしたいと思います。会長よろしくお願ひいたします。</p> |
| (議長) | <p>それでは、ここから議長を務めさせていただきます。着座にて進行しますのでよろしくお願ひします。</p> |
| (議長) | <p>会議の公開について</p> <p>議事の前に、会議の公開、非公開についてお諮りいたします。</p> <p>今回は特別非公開とする事項はないと思いますので、公開会議といたしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| (議長) | <p>異議がないようですので公開とします。</p> |

| | |
|-------|---|
| | 傍聴の許可について |
| (議長) | 次に、本日の傍聴希望者ですが、事務局、傍聴希望者は何名ですか。 |
| (事務局) | 傍聴希望者は4名でございます。 |
| (議長) | 特に傍聴要領に違反されている方もございませんので、設置要綱第9条の規定により許可したいと思いますと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。 |
| | (異議なし) |
| (議長) | 異議がないようです。それでは、傍聴を許可したいと思います。事務局、注意事項をお願いします。 |
| (事務局) | はい、傍聴者への注意事項につきましては、お渡ししております「傍聴を希望される方への注意事項」をご確認ください。また、本日の会議資料及び第1回の会議資料を傍聴用として準備しておりますので、ご覧ください。 ただし、お持ち帰りはできませんので、よろしく願いいたします。必要な方は、教育委員会のホームページから資料をダウンロードしていただきますようよろしくお願いいたします。以上です。 |
| (議長) | 傍聴人の方々におかれましては、会議の運営にご協力をお願いいたします。 |
| (1) | 会議録等について |
| (議長) | 始めに会議録の承認についてです。事務局をお願いします。 |
| (事務局) | はい。本日みなさまからの議事録承認書の提出をいただきました。一部誤字がございましたので、修正させていただきます。修正の後、ホームページで公開したいと考えております。ご協力ありがとうございました。 |
| (議長) | それでは、みなさんからの承認をいただきましたので、本会で承認したいと思います。よろしいでしょうか。 |
| | (異議なし) |
| (議長) | それでは、事務局、この内容でホームページでの公開をお願いします。 |

(議長)

次に、前回の質疑で、八千代区の白石区長から質疑があったと思いますが、事務局で回答をお願いします。

(学校教育
課長)

それでは、前回の質疑について回答させていただきます。資料1をご覧ください。1ページを開いていただきまして、まず前回の会議の補足として、学校の教員の数は、何を根拠として決定されているのかについて説明します。資料「令和2年度学級編制基準及び教職員定員配当方針」をご覧ください。

まず、申し訳ございませんが資料の訂正をお願いします。国基準の表の複式学級の人数が14人と記載しておりますが、これを申し訳ございませんが、16人に訂正をお願いします。

小学校及び中学校の学級編制基準につきましては、まず、国の基準では、単式学級、通常学級につきましては、小学校1年生のみ、35人まで1クラス編制で、小学2年生以上、中学校3年生は40人まで1クラス編制になります。

「※印」のところですが、小学校2年生から4年生については、町教育委員会が35人学級編制の研究指定を希望し、かつ県教育委員会が認めた場合は、下の県基準の表となります。小学校1年生から4年生まで、35人までが1クラス編制になるということで、下の表に示している県基準の表となります。

続いて、教職員定員配当方針をご覧ください。

これは、学校に配置できる教員数を定めたものです。校長は、小学校、中学校共に学校に1人。教頭及び教諭は、下に示しています小学校が別表1のとおり、中学校が別表2のとおりです。後ほど、説明します。

養護教諭は基本的には学校に1人、事務職員は、小学校では3学級以上の学校に1人、中学校では1人となっています。

教頭と教諭の数ですが、小学校の方、別表1をご覧ください。例えば、中町北小学校と杉原谷小学校で学級数が8クラスとなっています。教頭を含めて10人となりますので、教諭のみでは9人となります。

また、中町南小学校は13学級で教頭と先生の数が16人となっておりますが、これが1学級減り12学級となると、教員の数が一気に2人減となります。このように学校に配置される教員の数が決まってきます。

中学校ですが、八千代中を見ていただくと、1年生が1学級と前回お話しをしましたが、全学年で7学級となるので教員の数が12人となるので、昨年度までの8学級に比べると、一気に2人減った形となっております。教員の数というのは、県が決めております教職員定員配当方針に基づいて決まってくる現状となっております。参考までに5学級ののと

ころを見ていただきますと教員の数は、教頭と教員で9人、教頭を除くと教員は8人となります。その下に参考を示していますが、中学校の教科は道徳を除いて、10教科あります。8人の教員で10教科を教えるということは、2教科は教科の免許を持たない教員が指導するという現状が生じてくるということを補足説明いたします。

2ページについては、参考として後ほどご覧ください。

続いて、3ページからですが、前回、ご要望がありましたアンケートを添付しています。

3ページは小学校用のいじめアンケート、学校生活相談シートで、3ページは自分のこと、自分が困っていること、悩んでいることを書く様式、4ページはあなたの周りの友達に困ったり、悩んだりしている友達はありませんかという友達についてのいじめアンケートの様式を定めております。

続きまして、5ページになります。同様に中学校用となっています。5ページは自分のこと書く相談シートになっています。6ページには周りの友達が困ったり、悩んだりしていることはないか、それを知っていたら書いてもらう様式になっています。

続きまして7ページです。「いじめ発見のポイント」ということで、ご家庭で「学校生活相談シート」をお願いする際にお配りしている啓発文章です。こんな時にいじめが疑われますよといったことの案内でございます。

8ページです、学期に1回、実施しています保護者用の学校生活相談シートです。

続いて9ページです。こちらが子どもたちのストレスチェックを行っている様式です。1枚目は小学校1年生用になります。10ページ、「けんこうアンケート（8項目）」は小学校低学年で実施をしております様式です。次に11ページ、12ページです。「心とからだの健康アンケート（20項目）」ということで小学校中・高学年用で使用している様式です。

最後の13ページ、14ページが「心と体の健康アンケート（31項目）」が中学生用の様式です。このストレスチェックにつきましては、今年度から本格的に実施をしております、心のサポート授業と合わせて実施しています。

子どもたちが、日常生活におけるストレスやその影響について、セルフチェックするとともに望ましいストレス対処の方法を学んだり、セルフケアの力を高めたり、人間関係、友だちとのコミュニケーションスキルなど、ソーシャルスキルを高めるために取り組んでおります。以上、前回ご質問いただきました内容について提出いたします。よろしくお願ひします

| | |
|-------------|--|
| (議長) | ありがとうございました。これに対するご意見やご質問はありますか。 |
| (委員) | <p>ありがとうございました。</p> <p>保護者が子どもを育てていく上で、保護者自身の心配なことや悩んでおられるようなことがあったら、それを書く欄があったらいいのではないかと思いました。3番に書くのかなと思いました。誰にも相談できない保護者自身の悩みが、はき出せるような項目があればいいのかなと思いました。昔は3世代同居で祖父母も関わってきたことがあったが、今は核家族化が進んでいます。保護者だけで悩んでいることがあれば、保護者がどんなことで悩んでいるのかなど、学校が聞き出せることができればいいなと思いました。また機会があればよろしくお願いします。</p> |
| (議長) | ありがとうございました。事務局どうですか。 |
| (学校教育課長) | <p>ご意見ありがとうございました。8ページの「学校生活相談シート」は学期に1回の実施となっております。実際にご家庭で悩みがある保護者の方がこのアンケートに書かれていることも学校で把握しております。</p> <p>しかしながら、学期に1回ということもありますので、学校では子どもとの関係性を早期に作ることに取り組んでおりまして、また、保護者と担任との関係づくりについても早期の段階で実施しています。悩み事があったら、連絡帳などに書いていただいたり連絡をいただいたりしております。悩みによってはスクールカウンセラーに繋いだりしておりますが、このアンケートにつきましても、保護者の悩みなどが書けるように検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。</p> |
| (議長) | ありがとうございました。他ご質問はございますか。 |
| | (質疑なし) |
| (2) (議長) | <p>各区によるワークショップ</p> <p>続きまして、ワークショップ形式による意見交換会に移りたいと思います。前回、時間があまりなく、委員みなさんのご意見を聞くことができませんでした。また、会議の中で発言することもなかなか難しいことだと思います。そこで、職場や研修などでご経験があると思いますが、各区ごとに分かれていただいて、ワークショップ形式で意見交換をお願いしたいと思います。大変大切な審議をする場所で、このような形式を取り入れて、大変不謹慎ではないかと思われるかもしれませんが、私が事務</p> |

局にお願いしました。もう少し皆さんの忌憚のない意見を出したい、聞きたいと思い、ワークショップ形式で実施をお願いしたいと思います。

最初に自己紹介もしていただきながら、自由にご発言、付箋紙に書いて進めていただけたらと思います。

前回、事務局から説明を受けましたが、小中学校の児童生徒数の現状と将来予測、クラス数や部活動の現状などを含めた説明に対して、どんな感想を持たれたか、率直な意見や疑問、感想などをお手元のタックシールに書いて、どんどん出してください。どんなことでも構いません。

ルールは2つです。

①お互い書いたことを批判しないこと。逆に膨らませること。

②タックシールの色を分けること

黄色・・・・小学校のこと

緑色・・・・中学校のこと

青色・・・・共通（小・中学校）のこと

ピンク色・・・・疑問・質問

その後、似たような意見ごとにまとめて、タイトルを付けてください。

「友達」「人間関係」「通学」「学校施設」「学校生活」「学習」「部活」「行事」「地域」「先生」「学力」「行政」などです。いろんなことが出てくるとは思いますが、タイトルを付けてください。

最後に、区ごとに特徴的な意見や疑問などを発表し、全体の共通認識を図りたいと思います。それを聞いて、意見を追加していただいても結構です。

それでは、フェイスシールドを着けていただいて、ワークショップを始めてください。

進行役ファシリテーターと発表者ですが、グループ内で決めていただくのが原則ですが、なかなか決まらないようであれば、経験豊富な先生方、ご協力をよろしくお願いします。

今ちょうど8時00分ですので、意見交換を20分間で8時20分まで、意見の整理を10分間で8時30分まででお願いします

今回のワークショップは質より量でお願いします。どんどん意見をお願いします。時間になりましたら、こちらからアナウンスいたします。タックシールでは、1枚に1項目を書いてください。それではよろしくお願いします。

(ワークショップ)

(議長)

それでは、時間になりましたので各区から発表をお願いいたします。
八千代区からお願いします。

(委員)

八千代区です。まず「生徒が減る」、「児童が減る」、「全部の区で減少が目に見えている」、「増える要素がない」、という意見が出ました。その中で「単学級になると人間関係が固定化してしまうのではないか」、「中学校でクラス替えがないのはどうなのか」という意見がでました。そこで一番出てきたのが「統合」という意見ですが、「統合した時の通学方法はどうなるのか」、「統合した時にどこにその学校が建つのか」という意見が出ました。

次に出てきたのは、「生徒の数が減ってくると部活動はどうなるのか」ということです。「限られた部活動で選択肢がなくなる」、「そういったところが不安だ」という意見がありました。あわせて、「教員の定数がどんどん減っていく中で、教育力の低下が懸念される」という意見が出てきました。

そして、統合という問題ですけれども、「統合は避けて欲しい」、「子どもは地域で育てていきたい」という意見が出てきました。そうなってくると、「小中一貫校なのかな」、「小中一貫校になったら教員の数も増えるのかな」、「その辺がわからないなあ」という意見がありました。「ゆくゆくは、多可町で小学校、中学校、幼稚園が一つになるのも一つの方法だな」という意見が出ました。

最終的に八千代区でまとまった意見というのは、今出てきているのは、「統合」か「小中一貫校」しか意見として出てきていないが、「もっと他に選択肢があるのではないか」、「多可町よりも過疎が進んだ地域が日本にはたくさんあるので、その地域はどんな取組をしているのか、どんな施策をとっているのか」、選択肢をできるだけ多く示して、その中から、「10年後、20年後を見据えて」、あるいは3つの区でそれぞれ素晴らしい文化を持っているので、それを生かしたような中学校の、小学校の取組を考えていくべきではないだろうかという結論になりました。以上です。

(議長)

大変たくさんの意見や課題もまとめて出していただきました。ありがとうございました。
続きまして、中区をお願いします。

(委員)

中区です。いろんな意見が出ました。最初に出たのが、「統合の何が問

題なのか」、「もう少し整理したいな」ということで、「統合したら、小学校が1つ、中学校が1つになった場合、どういったメリットデメリットがあるのか」、「小中一貫校になったらどういったメリットやデメリットがあるのか」を整理して欲しいという意見が出ました。

その後、このまま統合せずにいった場合、「少人数になっていくことは目に見えている」と、その場合、「人間関係がやっぱり心配だな」。特に子どもたちはクラスの中で人間関係を学んでいくんですけど、うまくいかなかった場合、「クラス替えがないのはどうなのか」、「小学校1年生から中学校3年生まで9年間全くクラス替え無しなのはどうなのか」。

その他にも、少人数のデメリットとして一番多かった意見は、「中学校で部活動をどうするのか」ということです。部活動に入ったものの、「チームが自分たちだけでは組めない」ということがすでに出てきている、せっかく入ったクラブなんやから最後まできっちりやらせてあげたい。そんな意味で「部活動どうするか」というあたり。

それと「学校行事はどうなるのか」。「合唱にしろ、運動会にしろ、小さくなればなるほどやっぱり迫りに欠け、活気がなくなってくる」、その辺りがでてくる。

勉強にしても、「免許外の先生が増えるということで学習面が心配だ」。

深刻なのはPTA。「PTAが必ずまわってきます」よ。それも重いな。

それから、統合時の課題として、もし一つになったらこんなことが予想されるのではないかと意見がでました。「一つになったら場所はどうするのか」、「場所が決まれば遠くから通ってくる子どもの通学はどうするのか」、「バスになるだろうが、遠いところからなら1時間くらいかかるのではないか」。本当にそれでいいのかな。そんな意見が出ました。

反対に、「子どもの数が少なくなったら一人で通う子どもが出てくるから心配だな」という意見がでました。それから、ここにいるのは今現在の子育て世代であったり、少し上の世代であるから、「就学していないさらに若い世代の意見を聞く必要があるのではないか」、「アンケートをとるべきではないか」という意見。最後、このようにお金をかけてやりたいんだけど、「先立つものは大丈夫なのか」という意見も出ていました。

「小中一貫校」にしても「統合」にしても、「やっぱりお金がかかりますのでそのへんが心配だ」という意見が出ていました。以上です。

(議長)

ありがとうございました。最後、加美区の発表をお願いします。

(委員)

失礼します。まず、加美区の方で出たのが、現在少人数で、どんどん減っている状態で、「その状態のままで置いておくと、メリット、デメリットはどんなことがあるのか」、が最初に出ました。メリットとしては、や

は「人数が少ない状況の中で、先生が目が一人一人に行き届く」、それから「学習面ではつまずきや個々の困り感が掴みやすい」、それから「小さな地域であるということを生かした教育もしやすいのではないか」、そういうメリットがある一方で、デメリットとしては、「人間関係が固定化しやすい」、「クラス替えがなければ、この子はこんな感じの子だ」という見方をされてしまう子もいて、そこから抜け出すのに苦労する」という意見が出ていました。

実際に統合するといったことを考えた場合に、賛成と反対両方出たんですが、まず賛成の中には、どんどん人数が減っていく状況を見たときには「統合は致し方ないな」、その中で部活動のことが出ていましたが、やはり、学校における部活動の占める割合や位置づけは中学校においてはかなり大きいであろう、その中で「やっぱりある程度の人数を揃えて、部活動にしっかりと取り組むことが必要でないかな」。それから、生徒が少なくなって部活動が減るということは、「選択肢がどんどん減ってしまうので子どもにとっては魅力が減っていくのではないか」という意見が出ていました。それからもう一つ統合賛成派としては、教師の数がどんどん減っていくので、それによって「専門性のある先生が減った」ということは、やはり子どもたちへの教育が十分に行き渡らない状況が出てくるから、やはり「統合によって先生の数を増やし、専門的な教育を進めていく必要があるのではないか」という意見が出ました。

それから、反対の意見の中には、「登下校の問題で、遠距離から通学する子どもの負担や親の負担が増えるであろう」とか、「統合することで時間的な制約、例えばバスは時間が決まっていますので、ある程度柔軟に対応することが難しいのではないか」、それから行政的な問題として出てきたのは、「学校のない地域になると、そこに魅力がなくなってくるのではないか」。やはり子育てをする親にとっては、「学校が近くにあるということが非常に重要な位置を占めるので、そういう部分ではマイナスになるのかな」、行政的にどうなんですかねという話が出ていました。

行政の部分で、問い合わせをした時に行政の窓口のイメージが悪くて、移住をやめた方があったといった話がありましたが、やはり「魅力ある多可町を創っていくことが必要である」という話が出ていました。

今後のことについての話として、「過疎化が進んでいるところがあるので、そういう地域がどういう対応をしているのか参考にしていきたい」、や「東京の麴町中学校等のうまくいっている中学校を参考に、いいところはどんどん取り入れたらよい」という意見が出ていました。

あとは、「統合ということになった場合は、いろんな部分で細かいところを決めていかなければいけないだろうな」、「どこの校舎を使うのか」とか。それから、加美区の場合は、「小学校は統合して欲しいな」、「中学

校は統合して欲しくないな」という意見が出ていました。そこには何かあるのかというと、旧町意識が高くて、その意識の中で、その中（旧町単位）は統合して欲しいなという意見。

また、逆に言う「中学校を一つにすることで、多可町という一つの意識が生まれてくるのではないか」という意見もありました。以上です。

（議長）

ありがとうございました。予想通り大変たくさん意見を出していただきました。今回3グループで出していただきました案件を、事務局でまとめていただきまして、今からは、これらの出てきた課題をテーマにして、みなさんと意見交換をやっていきたいと思えます。それと、今日出ていました過疎地であったり、いいところの話もありました。情報収集とか、近くであったら現地へ行くことも考えてもいいかなど。そんな形でたいへんたくさん意見を頂戴しましたので、これを主に生かしていきたいと思えます。今日のワークショップはこれで終わりたいと思えます。一旦事務局にお返しします。まとめた資料については、次回またみなさんにお渡しして、それをベースに進めていきたいと思えますのでよろしく願います。ありがとうございました。

（事務局）

会長ありがとうございました。

委員のみなさん、ワークショップを熱心に取り組んでいただきまして本当にありがとうございました。

先ほど、会長も言われましたように、意見をまとめまして資料としてお配りしたいと思います。それに基づいて課題を設定し議論をお願いしたいと思います。

次第5.

事務連絡

（事務局）

事務連絡です。

フェイスシールドですが、お帰りの際には除菌シートでシールド部分を拭いていただいて、それぞれお持ち帰りください。申し訳ないですが各個人で保管をお願いし、ワークショップのような対面式の会議の場合はご持参ください。その場合は、案内に明記させていただきますのでよろしく願います。

次回は、10月14日（水）午後7時30分、場所はベルディーホール会議室で開催いたします。ご予約をお願いいたします。

後日案内文書をお送りいたしますのでご覧ください。

（事務局）

それでは、閉会にあたりまして、副会長より閉会のあいさつをお願いいたします。

(副会長)

みなさん、遅い時間まで本当にお疲れ様でした。最初会長からワークショップを一回やってみようという提案があったことで、やはりこれくらいの人数がとても意見が出やすいのかなと思いますし、みなさんの思われていることが共有できたと感じました。今後、意見とか言いにくいことがあるかもしれませんが、今日のようにどんどん意見を言っていただくのが良いのかなと思いました。

それでは、これを持ちまして第2回地域の学校教育のあり方を考える会を閉会させていただきます。みなさんどうもお疲れ様でした。

(終了 21:10)